

大阪市立大学大学院文学研究科プロジェクト

「明治維新以来の日本と諸外国の関係」

第4回研究会

以下の要領で、研究科プロジェクト「明治維新以来の日本と諸外国の関係」の第4回研究会を開催します。今回は麓慎一先生をお招きしてお話をうかがいます。ふるってご参加ください。

記

日時： 2018年1月26日（金）15時~18時

会場： 大阪市立大学文学部棟2階情報編集室カフェスペース

報告： 麓慎一(新潟大学教育学部教授)

「東アジアにおける開港都市と海産物流通—函館・長崎・上海・ウラジオストックを中心に—」

麓先生は、幕末から明治期にかけての、日本からみて「北方」の世界と、日本との関係を広く研究しており、ご著書に『近代日本とアイヌ社会』山川日本史リブレット、2002年、『開国と条約締結』（日本歴史叢書）吉川弘文館、2014年があります。

写真上：長崎・上海・ウラジオストックの海産物流通に変革をもたらした中国人商人の町 芝罘

写真下：北海道産の海産物に対抗するロシア産の海産物を輸出する拠点 ウラジオストック

連絡先：北村昌史(大阪市立大学)

kitamasa@lit.osaka-cu.ac.jp